

○停滞した前線等の影響により、東北・北陸地方の日本海側を中心に多数の地点で平年の8月の降水量を超える記録的な大雨となり、河川の氾濫が各地で発生し、甚大な家屋浸水被害等が発生した。

・派遣人数 のべ1,487人・日
 ・災害対策用機械 のべ113台・日

○北海道、東北、関東、北陸、中部、近畿、中国、九州地方の**1道18県27市町村へTEC-FORCEを派遣**。

リエゾン活動、気象情報の提供(JETT)、被災状況調査、応急対策活動などの自治体支援を実施。(一日あたり最大151人(8/8))

○東北、北陸地方では、河川の越水氾濫等による浸水被害に対し、**排水ポンプ車による浸水排除**や浸水解消後の道路清掃を実施。

○東北、関東、北陸、中部、近畿地方整備局等から派遣したTEC-FORCEが、東北と北陸地方を中心に**8県17市町村で被災状況調査を実施**。

現地調査では、TECアプリやドローンを活用し、現地調査の効率化を図るとともに、調査結果を自治体へ迅速に報告。

■リエゾン、JETTによる情報支援等

○リエゾンによる自治体から支援ニーズの聞き取り、支援内容の調整、JETTによる気象情報の提供等を実施



自治体と支援内容の調整(新潟県村上市)



自治体に気象情報を提供(山形県長井市)

■災害対策用機械による支援活動

○岩木川や最上川、梯川等の沿川地域で発生した浸水の排除や道路上に残った泥土の路面清掃を実施



市街地の排水活動(青森県弘前市)



道路上の泥土を清掃(山形県飯豊町)

■防災ヘリによる広域被災調査

○土砂災害、浸水状況を調査し、調査映像を自治体等と共有



防災ヘリ調査映像を共有(新潟県村上市)

■専門家による技術指導

○県管理道路の被災に対し応急措置及び復旧方針等の指導を実施



県管理道路の高度技術指導(山形県米沢市)

■自治体が管理する公共施設の被災状況調査

○オンラインで被災状況集約等を可能にするTECアプリやドローン等を活用し道路や河川護岸等の公共施設の損壊箇所を調査し、結果を自治体へ報告



TECアプリを活用(山形県小国町)



ドローンによる被災状況調査(青森県中泊町)